

持続可能な地方行財政のあり方に関する研究会（第8回） 議事概要

開催日時：令和7年6月16日（月）13：30～15：00

開催場所：東京グリーンパレス地下1階大宴会場ふじ ※WEB会議と併用

出席者：山本座長、石塚構成員、上村構成員、大江構成員、太田構成員、甲田構成員、
原田構成員、人羅構成員、牧原構成員

事務局：原総務審議官、阿部自治行政局長、新田大臣官房審議官（地方行政担当）、
植田自治行政局行政課長、大田自治行政局市町村課長、
越尾自治行政局公務員部公務員課長、神門自治財政局財政課長、
菊地自治税務局企画課長ほか

オブザーバー：全国知事会、全国都道府県議会議長会、全国市長会、全国市議会議長会、
全国町村会、全国町村議会議長会

【議事次第】

1. 開会
2. 意見交換
3. 閉会

【議事概要】

事務局から資料に沿って説明。その後、意見交換を実施。

【意見交換】

- 大変適切にまとめられている。31ページの最初の段落の「各事務」は、30ページの最後の段落の4行目の「個別の事務」と同じ表現でいいのではないかな。
- 31ページの「各事務」は個別の事務の固まりということを表現しようとしたが、意味としてはまさに個別の事務であるため、そのように直したい。
- 全体的にすっきりとした印象。図を入れたことでよかったが、東京圏と東京の人口の比率のグラフの資料を入れたほうがよいのではないかな。
- 18ページでは、国・都道府県・市町村間の事務内容の共通性のところで、事務処理内容の見直しがあり、41ページでは、小規模団体では代行とある。共通性のあることについて見直しと代行の2つの言及があるので整理したほうがよいのではないかな。
- 小規模団体の方が代行を活用する可能性は高いと思われるが、ここでは代行について小規模団体に限定する意図はないため、文章の平仄を合わせる形で検討させていただきたい。

- 29ページの会計年度任用職員について、もう少し処遇面について言及していただきたい。「成長実感」は、スキルなどを念頭に置いた表現と思われるので、例えば、「充足感」という表現にすると、処遇も含んだニュアンスが出るのではないか。
- 30ページの「その上で」以降の文章が、都合6行にわたって次のページの「求められている。」まで続いている。他意がないのであれば、例えば、「都道府県や国と連携する。さらに」というようにした方がよいのではないか。
- 32ページの「こうした状況を踏まえ」という文章の中で「対応を行っている議会があるが」という文章が入っている。「対応を行っている議会がある。」として、文章を一度切った方がよいのではないか。
- 参考資料の位置付けについて明記すべきではないか。
- 参考資料集の5から17の行政分野の課題の分析については、まず具体的な行政分野を機能的に分析したところ、一定の方向性・枠組みが見えてきて、それが検討の視点につながったということを示していると思う。

一方で、読み方次第では、最初から検討の視点があった上で、個々の分野を議論したのではないかと捉えられるおそれもあることから、検討の視点ありきではなく、様々な個別の分野を分析していった際の、現時点での仮説的な検討の視点の枠組みが得られたということを説明した方がよいのではないか。
- 報告書案の9ページ目において、最初に事務のプロセスに沿って区分しているということに言及した上で、17ページで分析ツールとしての検討の視点が考えられるとし、23ページで今後の活用の方向性について記載させていただいているが、議論の流れが正確に理解されるよう、最初の部分で全体の見通しを追記することとしたい。
- 23ページの「見直していくことが可能となる」という記述は、第三者的でニュアンスが弱く感じられるため、「望ましい」とした方がよいのではないか。
- 立派な内容の報告書に仕上がっていると思うが、読みやすくするための工夫が必要ではないか。例えば、参考資料の図と本文の対応関係を明確にするとともに、参考資料だけを読む方のために、研究会の問題意識を示すスライドが必要ではないか。
- ご指摘を踏まえ、本文と参考資料のつながりを明確にすることを検討したい。また、報告書全体の概要についても資料を作成することを予定している。

- 本日の議論を踏まえ、本文が整理された後に概要版を作成する予定であり、これを報告書に追加することで、分かりやすくなるかと思う。
- まず、地方議会に関する各グラフについて、一般市の議会と指定都市の議会のデータを分けて記載できないか。次に、分野横断的な検討の視点のうち、「④事務処理のあり方」という表現はやや漠然としているため、より適切な表現が考えられないか。最後に、「地方議会議員のなり手不足への対策」の項目について、前段の地方公共団体の事務処理の見直しの議論とのつながりを示すため、例えば、市町村の事務処理のあり方を明確化することで、首長部門に対するチェックアンドバランスがよりやりやすくなるといった説明を加えてはどうか。
- まず、32ページから34ページまでのグラフで、指標として取っているものがそれぞれ若干微妙に違うという点について、統一することができるか確認したい。
- 事務局で確認を行った上で修正できるようであれば、修正させていただきたい。
- 次に、18ページから19ページまでの部分に記載のある「事務処理のあり方」について、少し漠然としているため、現場の状況や即地性を踏まえた表現を検討すべきではないか。
- 地理的な要因だけではなく、どのような主体と連携するのかといった点も含めて、実際の事務処理を行う現場の状況を踏まえた表現とすることができるよう、少し抽象化して記載することが考えられるか。
- 「現場」という表現が一番しっくりくるが、逆にあまりにも砕け過ぎた感じもするため、少し検討したいと思う。
- 「事務処理のあり方」という表現について、「現場」を示す「状況」という表現に置き換えることも考えたが、「あり方」の方が、今後生じてくることが想定される多様な要素を含むメッセージとして適切であると感じた。
- 「事務内容」についても、「内容」にはあらゆることが含まれ、漠然としたところがあるので、他に表現についてアイデアがあれば伺いたい。
- 「地方議会議員のなり手不足への対策」の項目について、前段の地方公共団体の事務処

理の見直しの議論とのつながりを示すべきではないかとの御指摘は、執行機関が事務の見直し等を行って、地方公共団体が注力すべきところに注力できる結果として、地方議会が役割を果たしやすくなるという趣旨か。

- 議会が様々な民意を検討の過程の中で集約するというのももちろん重要であるが、それだけではなく、事務の見直しが検討され、執行機関における事務の明確化や総量自体の削減によってシンプルになれば、議会もチェックしやすくなるのではないか。

例えば、「おわりに」の最後の「このような見直しの取組は、これまでの地方分権改革が目指してきたように、各市町村が」という部分に議会部門も含まれることを一言追記することが考えられるのではないか。

- 報告書（案）中のグラフなどの数字は、最新のものにそろえたほうがいいのではないか。また、16ページの地球温暖化対策について、温室効果ガス削減量の最新の数字も入れたほうがいいのではないか。

- 5年ごとに更新されるものもあるが、確認できる最新のものに変える。

- 33ページの女性議員の割合について、町村議会だけが著しく低いのではなく、特別区議会ですら男性議員の割合に比べたら低い上、特別区議会を除く議会はどこも同じように低いことがわかる表現にしたほうがいいのではないか。

- 38ページの「東京都への一極集中の継続により、少子化が止まらないのではないか、地方公共団体が行う行政サービスの地域間格差が拡大しているのではないか」という部分について、実際に東京都への一極集中で、地方から人が移動することで、地方の過疎化、少子化は一層深刻化しているというのは周知の事実であり、地方公共団体の行財政サービスの地域間格差も拡大していることが明確であるため、疑問形にする必要はないのではないか。

- 表現は工夫する。

- 地方公共団体が行う行財政サービスの地域間格差とは、具体的に何の格差が拡大しているのかということを入れたほうがいいのではないか。

- 子育て施策などであり、表現は工夫する。

- 24ページの一番下の段落の「私法上の契約」という表現があるが、これは何か地方自

治法において制度化されているような契約は公法上の契約、そうでなければ私法上の契約といった決まりがあるのか。

- 地方自治法上の制度ではなく、民事法上の契約として行っている場合について、以前の地方制度調査会の答申か資料の中でも使われていた表現とそろえてみてはどうか。
- 地方自治法上の制度を使わずに共同処理を行っている事例や方法を議論した際の表現を使用したか、今までの様々な文章の書きぶりをもう一度確認させていただきたい。
- 個別の行政分野ごとの検討について、報告書を読んで問合せをしたいと思った自治体は、どのようなアクションを取ればいいのか。例えば、先進事例を行っている自治体の紹介も可能か。
- 少なくとも今回の10分野については、各省の担当課の協力を得ながら資料を作成し、報告書（案）も確認してもらっている。報告書は、総務省が事務局としてホームページ等で公表するため、一義的に問合せは総務省に来ると考えられるが、総務省で答えられるものは答え、各省に聞かないと難しい部分は、各省を紹介することになるのではないかと。先進事例の紹介という意味では、恐らく各省に聞くことになるが、そういった情報共有もスムーズにできるように努力したい。